全日本スナイプ2020 艇長会議

2020年11月12日

プロテスト委員長　富松　潔

プロテスト委員会

富松 潔	IJ / NU	委員長	リモート	スナイプ協会
田中正明	IJ / IU	副委員長	オンサイト	関東
岡部孝司	NJ / NU		リモート	九州
吉本昌弘	NJ / NU		オンサイト	関西
藤井裕文	NJ / NU		オンサイト	中国

COVID-19の「感染防止」を前提としたセーリング競技大会

- スマートフォンを積極的に活用します。

バッテリー、モバイルデータ通信

1. オンライン掲示板による掲示、および各種の手続き

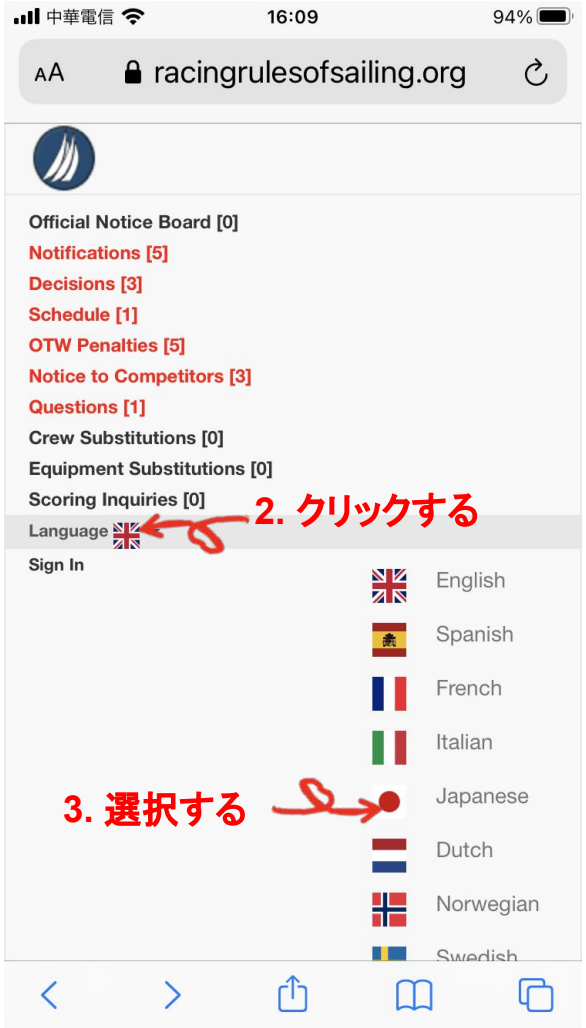
・抗議締切時間、抗議審問の要求、審問の予定などの連絡

・レース結果、成績確認の照会、規則42違反、判決文の掲示

・会場のWiFiは容量に限りがあります。

オンライン掲示板の使い方

＊日本語モード

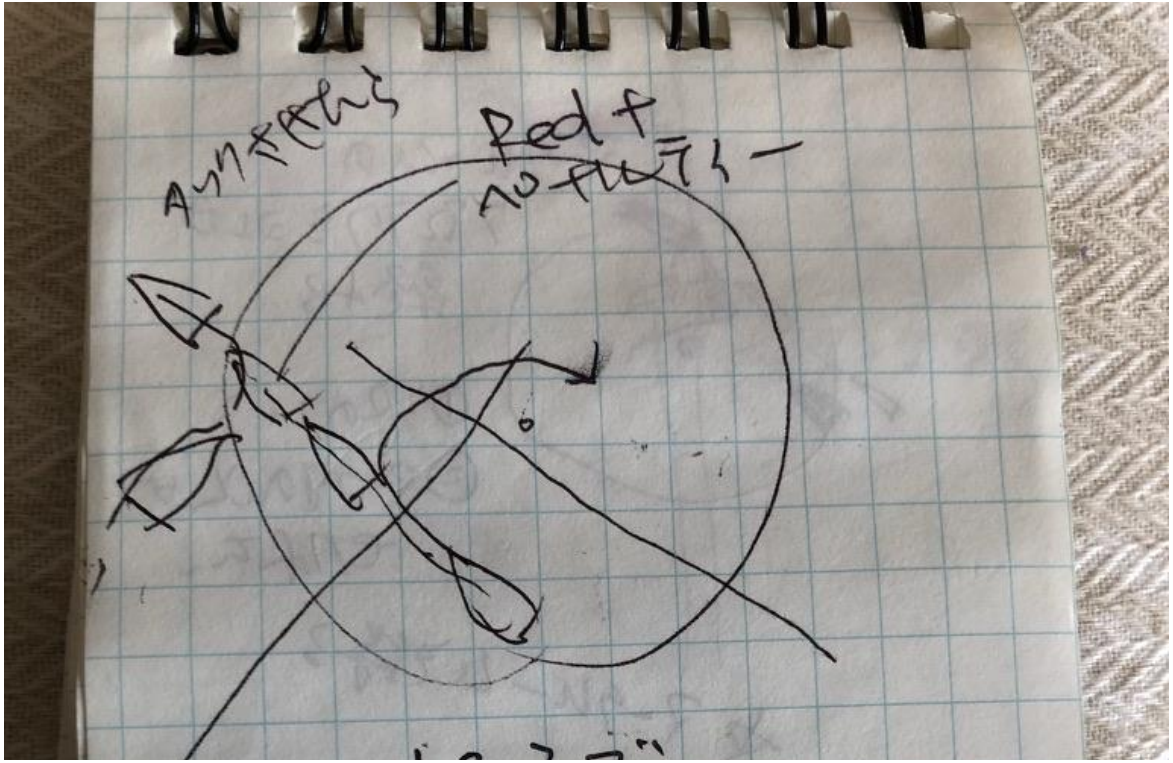


全日本スナイプ 2020 プロテスト委員会

抗議書の書き方

＊**見取り図**は紙に書いて写真を撮って、添付してください。

抗議書の書き方



＊

手書きの見取り図を、写真で撮って添付してください。

2. バーチャル審問（リモート＋審問室）

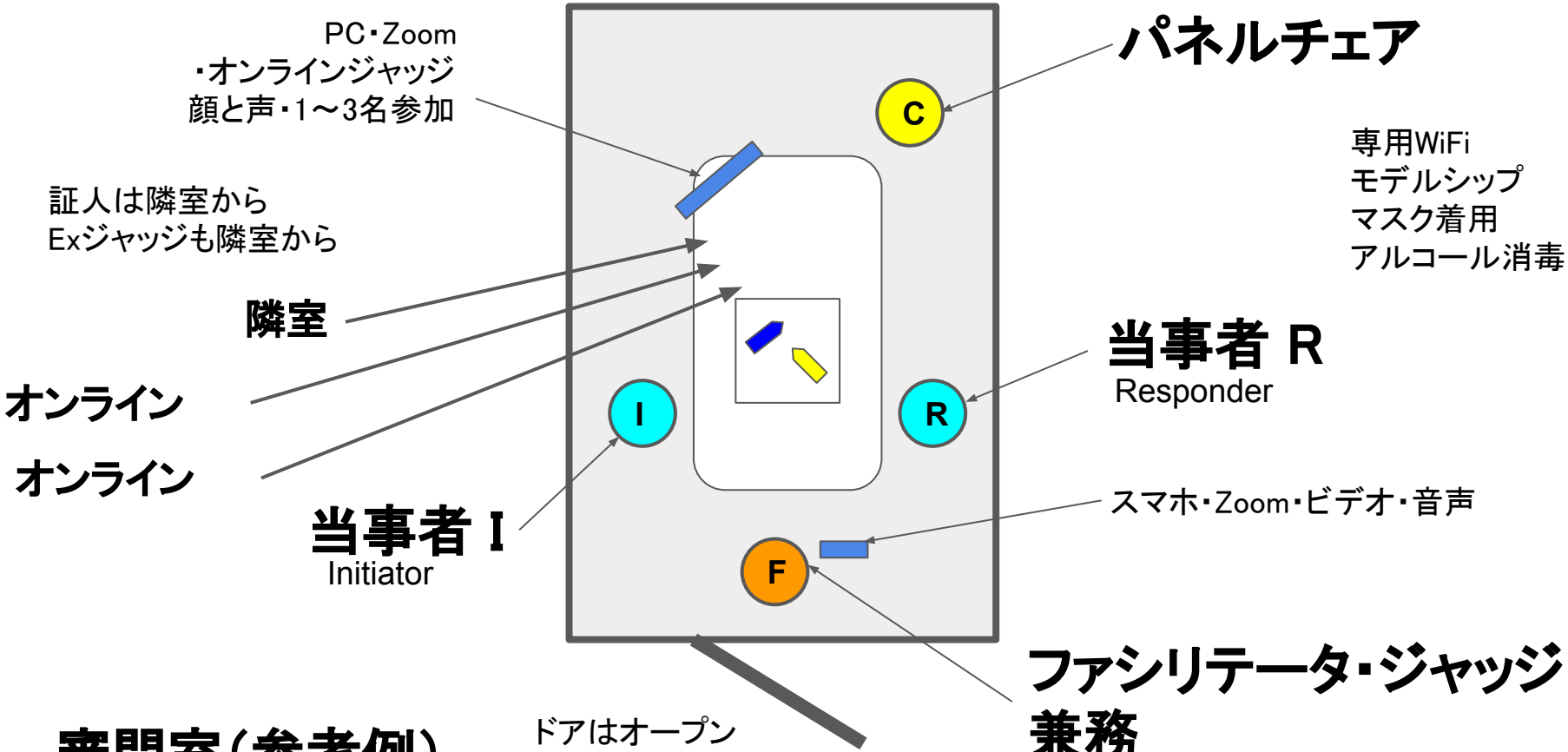
オンサイト＋オンライン審問について

・審問室では、当事者2人とジャッジ2人までに人数制限。

・オブザーバー参加は認めません。

・必要に応じてオンラインでジャッジが参加します。

・入室の際には手をアルコール消毒、室内ではマスク着用。


PC・Zoom
・オンラインジャッジ
顔と声・1～3名参加
パネルチェア
専用WiFi
モデルシップ
マスク着用
アルコール消毒
証人は隣室から
Exジャッジも隣室から
隣室
オンライン
オンライン
当事者 R
Responder
当事者 I
Initiator
スマホ・Zoom・ビデオ・音声
C
I
R
F
ファシリテータ・ジャッジ
兼務
ドアはオープン

審問室（参考例）

3. 赤色旗の掲揚

・抗議の要件について

抗議の意思は「赤色旗の掲揚」で示してください。
（帆走指示書で規則を変更しています。）

規則61.1「プロテスト」の声かけは抗議の要件ではありません。

Q&A